

第11回 ユース・フォーラム in 小松

テーマ:「“夢を実現しよう”ー女性と女兒に輝く未来をー 世界における女性たちの生き方」

日時: 4月2日(木)13:30~15:30

場所: ホテルサンルート小松

コーディネーター: 木原雅子

京都大学大学院医学研究科准教授 国連共同エイズ共同センター センター長 一般財団法人「日本子ども財団」理事長

留学生: クリスティーナ エルサイディー 京都大学大学院医学研究科博士課程3回生 イエメン出身

アイリーン ナボノバ 京都大学大学院医学研究科修士課程2回生 ウガンダ出身

学生: 県立小松高校 3名・県立明峰高校 2名・県立小松商業高校 5名・県立小松工業高校 5名

県立寺井高校 7名・小松市立高校 4名・私立小松大谷高校3名 計29名

SI小松会員 22名

ユース・フォーラム・奉仕プログラム・IGU 委員会合同で、木原先生と京都大学の留学生2名を交えてフォーラムを開催。前半は留学生2名の母国の女性の現状、日本に来た理由、夢、メッセージ“決まった箱から出て下さい!” “勇気を持って新しい事に挑戦してください!” “広い世界を見て下さい!” を聞いた後、木原先生進行のもと活発な意見交換。最後に、私たちは将来どんな風に生きて行きたいと思ったのかを29名全員が力強く発表した。29名の中から代表者1名を選出、大阪で開催されるリジョンユースフォーラムに出席。

留学生の生き方に学ぶ
小松 女子高生が意見交換



国際ソロプチミスト小松は、能美、小松市の高校に通う女子生徒たちによる意見交換会「ユース・フォーラム」(小松)を小松市日の出町のホテルで開いた。

外国人留学生の話真剣な表情で聞く女子生徒たち=小松市日の出町で

「この後、生徒たちは「世界における女性たちの生き方」をテーマに一時間ほど意見交換。「かなう可能性が低くても大きな夢を持つて頑張りたい」「進みたい道に自信を持って進める自分になりたい」など力強い決意が聞かれた。

出席した生徒から今後一人を選出し、七月に大阪で開催される全国フォーラムに派遣する。(太田博幸)

(2015.4.3 北陸中日新聞掲載)



主催: 国際ソロプチミスト小松

後援: 小松市教育委員会 能美市教育委員会

第11回 ユース・フォーラム in 小松

テーマ:「“夢を実現しよう”ー女性と女兒に輝く未来をー 世界における女性たちの生き方」

日時:4月2日(木)13:30~15:30

場所:ホテルサンルート小松

コーディネーター: 木原雅子

京都大学大学院医学研究科准教授 国連合同エイズ共同センター センター長 一般財団法人「日本子ども財団」理事長

留学生: クリスティーナ エルサイディー 京都大学大学院医学研究科博士課程3回生 イエメン出身

アイリーン ナボノバ 京都大学大学院医学研究科修士課程2回生 ウガンダ出身

参加学生: 小松市・能美市 高等学校7校 計29名

SI小松 会員 22名

ユース・フォーラム、奉仕プログラム、IGU 委員会合同で、木原先生と京都大学の留学生 2 名を交えてフォーラムを開催。前半は留学生2名の母国の女性の現状、日本に来た理由、夢、メッセージ“決まった箱から出て下さい!” “勇気を持って新しい事に挑戦してください!” “広い世界を見て下さい!” を聞いた後、木原先生進行のもと活発な意見交換。最後に、私たちは将来どんな風に生きて行きたいと思ったのかを29名全員が発表した。大阪で開催されるリジョンユースフォーラム代表に選出された生徒の発表です。

“まだ日本にも女性差別は残っていると思います。将来、企業に勤めたら女性が働きやすい環境を作る為に様々なルールを作りたい” (2015.4.3 北陸中日新聞掲載)

留学生の生き方に学ぶ
小松 女子高生が意見交換



外国人留学生の話を真剣な表情で聞く女子生徒たち=小松市日の出町で

国際ソロプチミスト小松は二日、能美、小松両市の高校に通う女子生徒たちによる意見交換会「ユース・フォーラムin小松」を小松市日の出町のホテルで開いた。生徒二十九人が出席

し、将来の目標や生き方について話し合った。京都大学大学院医学研究科の木原雅子准教授が進行役をつとめ、冒頭では多様な生き方や考え方を学ぶため、同研究科に通うイエメン人とウガンダ人の留学生をゲストに、それぞれの母国の現状や日本に来た理由、夢などについて話を聞いた。

この後、生徒たちは「世界における女性たちの生き方」をテーマに一時間ほど意見交換。「かなう可能性が低くても大きな夢を持つて頑張りたい」「進みたい道に自信を持って進める自分になりたい」など力強い決意が聞かれた。

出席した生徒から今後一人を選出し、七月に大阪で開催される全国フォーラムに派遣する。(太田博泰)

